



Slidev×AI駆動で 爆速登壇

Tech Talk !!!! / #n_study

セイ

自己紹介

- セイ
- 25卒 FE / TypeScript ・ Next.js
- 今年は LT 登壇をよくしています
 - フロカン関西のCFP通りました！
- 赤羽もくもく会やってます
- X : Sei_engineer



LT 登壇したことある人、
何人いる？🙋

何回登壇したことある？

今年 7回登壇 (+ 社内LT 2回)

2026-04-03・Yoriai.tech LT

フロント×バックの型ズレ、ちゃんと倒せてますか？

2026-04-22・埼京.dev

俺の考えた最強のプログラミング勉強法

2026-05-15・きたく.dev

赤羽でもくもく会を開いた話

2026-06-19・React Tokyo Meetup #17

Reactのコードを読んだらJavaScriptの仕様が見えてきた話

2026-07-23・TSKaigi Mashup #5 any

TypeScriptユーザーが1週間Flowで開発してみた



たくさん登壇することが
全てではないけど、

登壇はエンジニアとしてすごいこと
憧れ・目標にもなりやすい

でもそのために、
構成を考えてから
見やすいおしゃれなスライドに
落とし込むのって大変ですよ

ツール、多すぎ問題



便利だけど、使い始めるとそのツールでしか管理できない

Icons: simpleicons.org (CC0) · icons8.com

スライドがバラバラになって
管理がめんどくさい

全部同じところで
自分の持ち物として管理できたらいいのに

Slidev 使おう

おかげで今年は7回くらい登壇できたし、
カンファレンスも登壇が決まった



おすすめの使い方・運用

1. Slidev とは

Marp × Vue コンポーネント。

Markdown でスライドが作れる

slides.md (例)

```
# Hello Slidev
```

Markdown で書ける

- Vue コンポーネントも使える
- コードハイライトもそのまま

このコードが、次のページ ↓

Hello Slidev

Markdown で書ける

- Vue コンポーネントも使える
- コードハイライトもそのまま

2. AI と壁打ちして スライド生成

- ① いきなり Slidev 生成しない
- ② `plot.md` に構成・演出・意図を書く
- ③ 固まったら AI に生成指示 (skills / rules)
- ④ 起動して見た目・尺だけ直す

`plot` を読んだ AI が、用意したコンポーネントから適したものを選んで埋め込んでくれる

この発表の `plot.md` (実物)

`plot.md`

2. AI と壁打ちしてスライド生成 (タイトル回収)

橋渡し:

- Markdown で書ける → いきなり Slidev を書かせない。構成を先に固める

フロー (口頭このまま):

1. ****いきなり Slidev 生成しない****
2. 発表の構成を ``plot.md`` に書き起こす
 - こういう演出を入れたい
 - こういう意図で話す
 - など細かい注釈も書く
3. `plot` が固まったら AI に Slidev 生成を指示
 - skills / rules に従って ``slides.md`` を生成してくれる
4. サーバー起動 → 見た目崩れ・時間内に読み切れない箇所を直すだけ

見せ方:

- フローを1枚 (`plot` → AI+skills → slides → 目視修正)
- この発表の ``plot.md`` がまさに実例、と言える

3. 複数スライド管理しよう

デフォルトだと 1 デッキ 1 リポになりがち → リポが増えて管理コスト ↑

- ✓ 増えても行方不明にならない / 後から見返せる
- ✓ 画像・Vue コンポーネントの使い回しがきく

slides/日付-イベント/ が並んでいるだけ

```

  slides
  > 2026-04-03-yoriai-tech-lt
  > 2026-04-22-saikyo-dev
  > 2026-05-15-kitaku-dev
  > 2026-06-19-react-tokyo-meetup-17
  > 2026-07-23-tskaigi-mashup-5
    dist
    images
    TS codes.ts
    plot.md
    slides.md
    vite.config.ts
  > 2026-08-06-tech-talk-slidev-ai
    images
    TS codes.ts
    plot.md
    slides.md
    vite.config.ts
```

4. こんなコンポーネントおすすめ

さっき言った「AI が選んでくれるコンポーネント」の実例 → **CodeSpotlight**

スクリーンで小さく見えるコードを、モーダルで拡大できる

使い方 (イメージ)

```
<CodeSpotlightGroup>
  <CodeSpotlight
    lang="md"
    title="slides.md"
    :code="codes.slidevMarkdown"
  />
</CodeSpotlightGroup>
```

ホバーして拡大ボタン → クリックで拡大

5. ビルドして一覧サイトと一緒に公開

Slidev → HTML → docs/ → Cloudflare Pages。1 リポで複数公開



あとで本物を見てね

<https://illionillion-slides.pages.dev/>

6. CI : 差分だけビルド

Before

毎回フル → 6~20分

After

変更分だけ → 6分以内

docs/ = 公開用のフォルダ

一覧サイト (Next) と各スライド (Slidev) を同じ場所にマージ

直した側だけビルドし直す

共通コンポーネントを触ると全ビルドに戻る

```

▼ docs
  > _next/static
  > _not-found
  > 2026-04-03-yoriai-tech-It
  > 2026-04-22-saikyo-dev
  > 2026-05-15-kitaku-dev
  > 2026-06-19-react-tokyo-meetup-17
  ▼ 2026-07-23-tskaigi-mashup-5
    > assets
    ≡ _redirects
    <> 404.html
    <> index.html
    📄 slide.pdf
  > my-private
  > sei-private
  > slides
  ≡ __next__full.txt
  ≡ __next__head.txt
  ≡ __next__index.txt
  ≡ __next__tree.txt
  ≡ __next__!KHB1YmXpYyk__PAGE__.txt
  ≡ __next__!KHB1YmXpYyk.txt
  <> _not-found.html
  ≡ _not-found.txt
  <> 404.html
```

まとめ

plot で壁打ち → AI で Slidev 生成

コンポーネントで発表体験をよくする

複数管理 + デプロイ → 発表も共有も使える

君も登壇たくさんしよう



illionillion-slides.pages.dev

github.com/illionillion/illionillion-slides

#n_study

続きは懇親会 or 赤羽もくもく会で